

シーホネンス

在宅介護向け新型ベッド発売

頭頸部角度の調整で誤嚥リスク低減

シーホネンス(大阪市、増本龍樹代表取締役)は、在宅介護向けベッド「EM i (エミ)」を9月に発売する。



エミは、頭頸

部を0〜30度で調節できる「A DLポジション」をとることができ、誤嚥リスクを低減す

る。また同様に0〜50度

で調節できる「QOLポジション」は視線が前を向くためにコミュニケーションがとりやすく、コロナと共存の時代の在宅介護に有効である。

床ずれのリスクを低減できる「スイングバック機能」は、背上げ時に、背ボトムの見点が後ろにスイングすることで、仙骨が立った状態を作り、床ずれリスク軽減を図

る。

組み立て時の脚座の差し込み方向を縦・横と変えるだけで、ベッドの高さを変更できる。液晶手元スイッチは、液晶表示で、頭・背・足・高さすべての数値を表示し、在宅介護時に、医療従事者からの指示を忠実に再現できる。操作時には音声案内し、誤動作を防ぐ。

問い合わせ06・6973・3471。